

1. まち歩きワークショップ・地域懇談会の実施報告

1.1 まち歩きワークショップ

バリアフリー基本構想に掲載する「移動等円滑化に関する事項」や区独自に配慮すべき事項に、区民の皆様のご意見を反映するために、区の特徴を踏まえた検証テーマを設定し、区民参加のもと検証の視点に適した経路・施設等のバリアフリー状況の現地確認・意見交換を行いました。

協議会の区民委員をはじめ、各団体からのご紹介者や大学生など多くの方々にご参加いただくとともに、東京都交通局（都営）や東京地下鉄（東京メトロ）、東大病院など関係事業者の方にもご協力いただきながら実施しました。

1.1.1 開催日程

日時：平成 27 年 7 月 15 日（水） 13 時 30 分～17 時 30 分
会場：文京シビックセンター 21 階 2102 会議室



1.1.2 当日のプログラム

項目	時間	内容
1.開会・説明	13:30 (15分)	○開会挨拶 ○区のバリアフリーの取組紹介 ○本日の目的及び進め方の説明
2.現地確認	13:45 (15分)	～班ごとの進行へ～ ○参加者自己紹介 ○班ごとの検証テーマ、現地確認ルートの確認 ○現地確認の出発準備
	14:00 (110分)	○現地確認
(休憩)	15:50 (10分)	
3.意見交換	16:00 (60分)	○各班で意見交換
4.閉会	17:00 (20分)	○各班からの報告 ○今後のスケジュール ○閉会挨拶

1.1.3 参加者数

27 名（交通事業者及び事務局を除く）

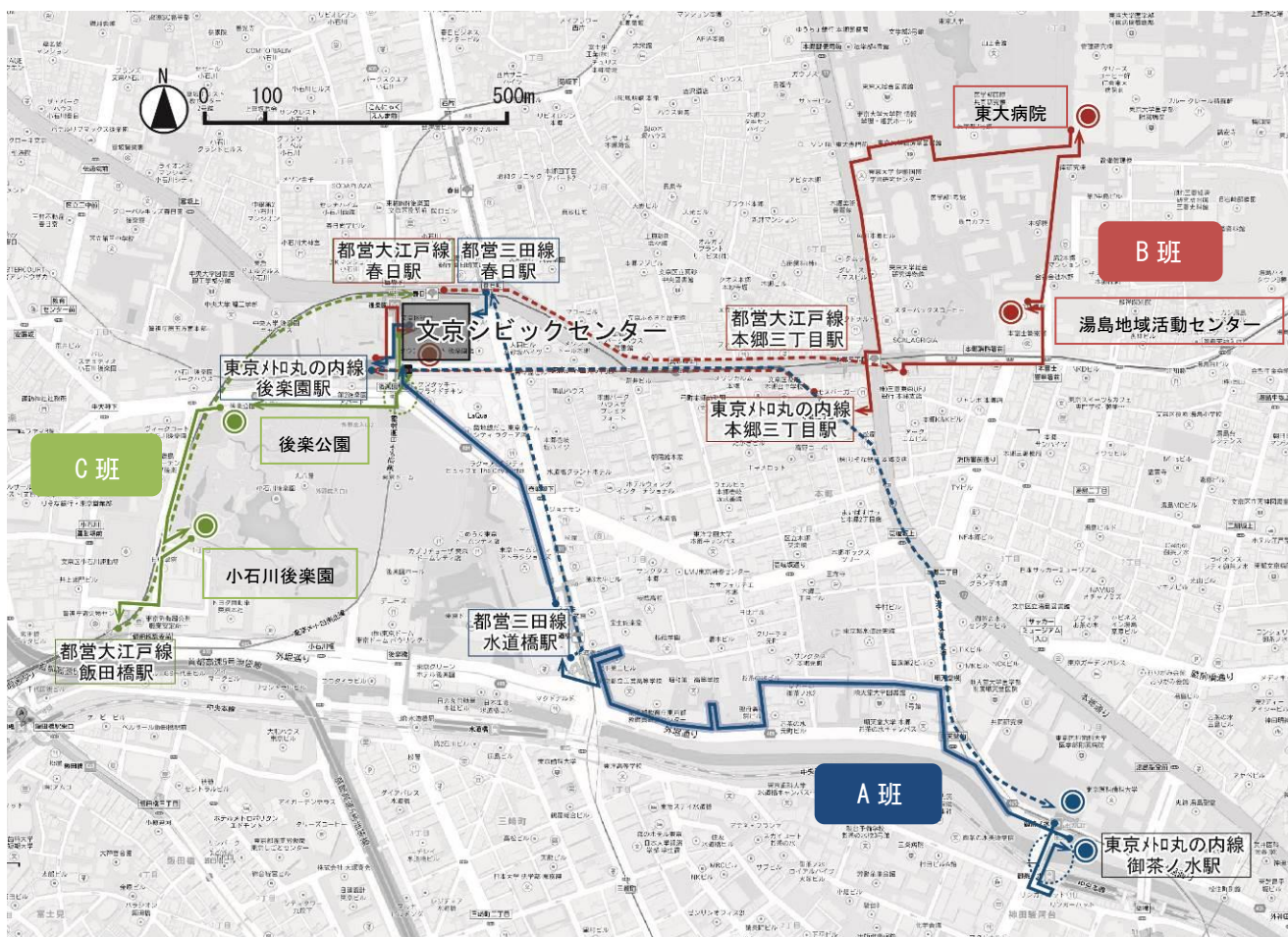


様々な立場の人が集まり、テーマごとに街中を歩いて区のバリアフリー課題を確認しました。会場に戻った後は、気づいたことや、実現可能な改善策の提案などについて、自由に意見を話し合い、参加者全体で共有しました。

1.1.4 検証テーマ

4つの検証テーマを設定し、3班に分かれてまち歩きを実施しました。

検証テーマ	検証の視点	検証経路・施設等
鉄道駅周辺の バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> 駅及び駅周辺の整備での配慮 駅乗換での配慮 等 	<ul style="list-style-type: none"> 東京メトロ御茶ノ水駅 JR 御茶ノ水駅 等
道路の バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> 歩道整備での配慮 歩道設置困難な道路での配慮 改善困難な坂道での配慮 誘導ブロックの連続性 等 	<ul style="list-style-type: none"> 白山通り、外堀通り、文京区道
建築物の バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人が利用する施設の整備での配慮 上下移動（エレベーター・階段）、トイレ、駐車場等での配慮 窓口での配慮や人的対応、サービスでの配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 湯島地域活動センター シビックホール 東大病院 等
都市公園の バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園整備での配慮 来街者が多く訪れる公園での配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 小石川後樂園 後楽公園



ルート全体図

1.1.5 テーマごとの主な意見

(○：良い点、△：悪い点・改善点)

検証テーマ	検証項目	意見内容
鉄道駅周辺の バリアフリー	出入口・通路	△出入口をもう少し分かりやすくしてほしい。(東京メトロ御茶ノ水駅)
	ホーム	△座れるところ(ベンチ)が少ない。(東京メトロ御茶ノ水駅)
	エレベーター	△基準は満足していても、車いすのタイプによっては、エレベーターの広さが十分でないものがある。(東京メトロ御茶ノ水駅)
	案内	△エレベーターの案内が不十分である。(東京メトロ御茶ノ水駅) △駅構内に音声案内がもっとあっても良い。(東京メトロ御茶ノ水駅)
	全体	△視覚障害者誘導用ブロックのメンテナンスが不十分である。(東京メトロ御茶ノ水駅)
道路の バリアフリー	幹線道路	○歩道と車道の段差が2cm程度の歩道が良い。(千代田区内茗溪通り) △凹凸のある歩道は転倒の原因となり、危険である。(御茶ノ水駅乗換経路) △歩道や公開空地などに日陰とベンチがほしい。(外堀通りなど)
	生活道路	△目地幅の大きい舗装や樹木の根上がり、マンホールの段差等は危険である。 △ガードレールと放置自転車が歩道の幅員を狭くしている。
	交差点	○歩道の縁石にUDブロックが用いられており、車いす使用者でも移動しやすい。 △エスコートゾーンがない横断歩道が多く、特に幅員の広い道路では危険に感じる。(視覚障害者) △音声案内や残り時間表示式の信号機を増やしてほしい。 △青時間の短い信号機が多い。
	坂道	△手動の車いすだと急な坂道を下るのは危険である。(外堀通りから北に入る坂道)
	歩道橋	△ラクーアの敷地入口から後樂園駅前歩道橋へのエレベーターへの動線に視覚障害者誘導用ブロックがあると良い。 △階段部に手すりや視覚障害者誘導用ブロックがあると良い。(後樂園駅前歩道橋) △スロープが長い時は、途中で休めるところがあると良い。(後樂園駅前歩道橋)
	バス停	△バスの行先案内の英語表示がほとんどない。
	案内	△バス停の場所がわかる案内が少ない。
	全体	△視覚障害者誘導用ブロックが剥がれている箇所が多いため、メンテナンスを行い、連続性を持たせてほしい。 △音声ガイドを全般的に増やすべきである。

検証テーマ	検証項目	意見内容
建築物の バリアフリー	敷地内通路	△タクシーやバス降車場から病院入口までの案内が不足している。案内してくれる人を配置するか、視覚障害者誘導用ブロックを設置してほしい。(東大病院)
	建物内通路	○院内の通路が広くて移動しやすい。(東大病院)
	受付・窓口	△呼出受信機の音がなくても、画面の文字が見えないのでどこに行けば良いのかわからないため、読み上げ機能などがあると良い。(東大病院)
	トイレ	△一般トイレにも手すりしてほしい。(湯島地域活動センター)
	案内	△トイレ前に音声案内を設置してほしい。(東大病院) △各階の案内板がもっと大きくても良い。(東大病院)
	人的対応	○笑顔で対応しており接遇が良い印象である。(湯島地域活動センター)
	その他	○磁気ループ対応している。(シビックホール) ○出入口に車いすや歩行車の貸出が多く備えられていて良い。(東大病院)
建築物全般	△公共性の高い施設は、視覚障害者誘導用ブロックや音声案内などの設置方法を統一してほしい。 △エレベーター内に閉じ込められるなどの緊急時に、耳の聞こえない方でも状況を把握し外部とやりとりができるモニター等があると良い。 △道路から施設へ視覚障害者誘導用ブロックで誘導をしてほしい。	
都市公園の バリアフリー	園路	○出入口に車いすマークがあり、公園内を取り囲むように舗装された園路がある。(後楽公園) △砂利道が歩きにくい。(小石川後楽園)
	トイレ	○非常時に外に知らせるフラッシュライトがあって良い。(後楽公園)
	休憩施設	△ベンチが少ない。(後楽公園) △日影が少ない。(後楽公園)
	案内	△トイレの案内板はあるが、視覚障害者対応ではない。音声案内があると良いが騒音問題もあるため、シグナルエイド対応になると良い。(後楽公園)
	出入口	△出入口に視覚障害者誘導用ブロックがあると良い(段差のある入口を含む)。(後楽公園)
	受付・人的対応など	○砂利道用の車いすが貸し出されており、乗り心地・押し心地も良い。(小石川後楽園) △受付で障害者割引などの障害者向けの情報をわかりやすく表示してほしい。(小石川後楽園) △耳マークや筆談対応の案内がない。(小石川後楽園)

1.2 地域懇談会

区内のバリアフリー上の具体的な課題や改善策を整理するため、『文京区都市マスタープラン』に沿った5地区別に、在住の高齢者、障害者等による懇談会を開催し、地区内における施設等の利用状況や利用しやすさ、課題点等について把握することを目的として実施しました。

1.2.1 開催日程

日時：平成27年7月27日（月） 13時30分～15時30分

会場：文京シビックセンター 21階 2103、2104会議室

1.2.2 当日のプログラム

項目	時間	内容
1.開会・説明	13:30 (15分)	○開会挨拶 ○区のバリアフリーの取組紹介 ○本日の目的及びプログラム
2.懇談	13:45 (15分)	～地区ごとの進行へ～ ○参加者自己紹介 ○地区の特徴、懇談の進め方の説明
	14:00 (75分)	○テーマごとに懇談 ＜主なテーマ＞ ①地区内でよく利用する施設・経路と、バリアフリー上の課題・改善策 ②地区のバリアフリー化を進めるために特に重要なこと ③その他、日常生活の中で感じていること 等
	15:15 (10分)	○模造紙の整理 ○まとめ
3.閉会	15:25 (5分)	○今後のスケジュール ○閉会挨拶



地域懇談会の様子

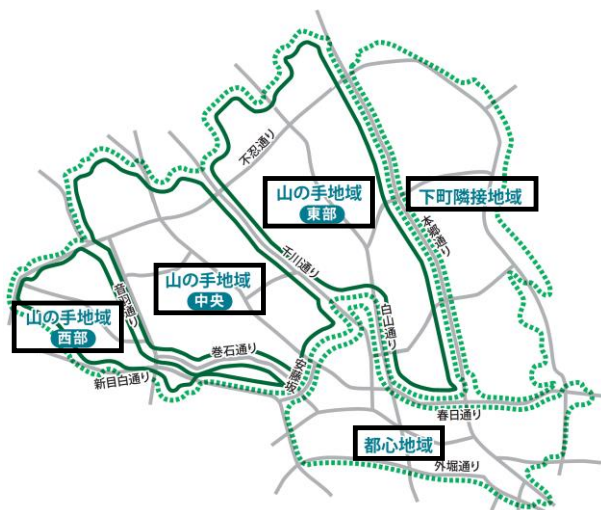
高齢者、障害者（視覚、聴覚、肢体不自由、知的障害 他）、障害者の支援者などさまざまな立場の人が集まり、日頃から感じていることについて話し合う中で、地区の課題を明らかにしていきました。

1.2.3 参加人数

46 名（学識経験者及び事務局を除く）

1.2.4 地域区分

『文京区都市マスタープラン』に示す5地区（都心地域、下町隣接地域、山の手地域東部、山の手地域中央、山の手地域西部）について4班に分かれて懇談しました。



地域区分図

（資料：文京区都市マスタープラン）

1.2.5 主な意見内容

① 都心地域

項目	意見内容
施設	<ul style="list-style-type: none"> シビックセンターはエレベーターホールでエレベーターを待っている際に、エレベーターが何階にあるかわからない。エレベーターを待つ時間が長いので、表示などがあった方がよい。 区民センター（改修中）横の歩道が狭く、その歩道上に区民センターを利用する自転車が放置されたり荷捌き車両が乗り上げて駐車しており歩道が利用できない。 湯島総合センターの近くは坂が多く高齢者にとっては利用しづらい。 メトロ・エム後楽園には車いす用のトイレがなく、駅のトイレを使うようにと言われたことがある。 都営三田線春日駅からシビックセンターに行くルートが複雑で分かりにくい。 東京メトロ御茶ノ水駅にはエレベーターはあるが利用者が多く、病院も近く高齢者が多いことからエスカレーターがあるとよい。
地点・路線	<ul style="list-style-type: none"> 千川通りは舗装のがたつきなどがひどく、杖先がはまり先端のゴムが外れるなど管理状態が悪い。 春日町交差点は歩行者用の青信号が短くお年寄りには渡りきれない。 壱岐坂下交差点は横断歩道が斜めに設けられており、視覚障害者が渡るときは危険であり利用を避けている。エスコートゾーンが必要である。 ラクーア～東京ドーム～後楽園駅では車いすはラクーアからまわることになるが、経路が複雑で分かりにくい。

地域全体	歩道	<ul style="list-style-type: none"> 坂道も多いため、もっと街中にベンチを置いた方がいい。 視覚障害者誘導用ブロックをどの道にもつけてほしい。 視覚障害者誘導用ブロックが車いす使用者や高齢者にとっても通行しづらい要因となっているため、大きさをもう少し小さくするなどできないか。
	信号機など	<ul style="list-style-type: none"> 信号に残り時間表示があるとわかりやすい（視覚情報が頼りの聴覚障害者にとっても必要）。
	心のバリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> エスカレーターの右空けの習慣は、片麻痺の人にとっては困る。最近案内されているようにエスカレーターの利用時のマナー向上が必要である。 自転車が歩道を走っており危険である。目の不自由な人にとっては白杖が巻き込まれるなどの事故が起きている。自転車が安心して車道を走れるようにした方がいい（自転車レーンなど）。

② 下町隣接地域

項目	意見内容	
施設	<ul style="list-style-type: none"> 根津神社のつつじ祭りに行きたいが、階段や石畳などがあり、車いすで行くことは難しい。また、トイレの場所も、車いすでは行くのはほぼ不可能である。 	
地点・路線	<ul style="list-style-type: none"> 不忍通り沿いの歩道は狭く、真ん中に電柱が立っていたり、勾配があるため車いすでは通りづらい。また、音声ガイドがないため、視覚障害者にとっても歩きづらい。 千駄木駅周辺の不忍通りは自転車の駐輪が多い。また、歩道が狭く、勾配（車道側へ斜めに傾いているなど）もあるため通りづらい。 不忍通りの裏道は比較的通りやすいが、買い物等をするには表通りに出るしかないため、幹線道路沿い等の大きな通りのバリアフリー化をしてもらいたい。 	
地域全体	歩道	<ul style="list-style-type: none"> バス停や電柱、自転車や車の駐輪・駐車などが、歩行や車いすでの通行を妨げている場所が多い。 坂道や勾配など歩道自体を改善することは困難かもしれないが、せめて、幹線道路沿いや坂道沿いを中心にベンチなどを点在させ、途中で休憩できる空間を整備してもらえると助かる。
	案内	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄での案内（車両事故等の緊急時の情報）は、放送だけでなく文字での情報もほしい。
	心のバリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難について、どのように行動すればよいか分からず、不安である。また、避難所での生活においても、障害について周囲の理解が得られるか不安である。
	教育	<ul style="list-style-type: none"> 子どもからあいさつしてくれるのはうれしい。

③ 山の手地域東部

項目	意見内容
施設	<ul style="list-style-type: none"> 千石駅のA1出口は、階段が急で歩きにくい。 →エレベーターかエスカレーターがあると便利である。 →エレベーターのあるA5出口の正面に横断歩道があると良い。
地点・路線	<ul style="list-style-type: none"> 不忍通りは、歩道が狭いので拡幅してほしい（全体的に歩道が狭い）。 千石の商店街は、歩道いっぱいに商品を陳列していて危ない。歩道上にはモノを置かないようにしてほしい。 旧白山通りの東洋大学周辺は、学生が多く、携帯や友達同士の話に夢中になっていて、ぶつかることが多く、危険である。また、歩道の舗装が粗く、車いすやベビーカーのタイヤが引っかかる。 補助 178 号線（白山上と白山下を結ぶ旧白山通り）は、歩道が狭く人が多いうえに、放置自転車が多数。白山上交差点・白山下交差点は、交差点のつくりが複雑で視覚障害者にはわかりづらい。エスコートゾーンを設置するなど横断歩道の方向がわかるようにしてほしい。 菊坂は歩道が狭く、車いすは車道を通行するしかない。上道と下道を結ぶ階段に手すりがついて便利になった。

地域全体	大通り	<ul style="list-style-type: none"> 将来的には歩道の拡幅が望ましいが、短期的な取組も進めてほしい。 →がたつきの解消など歩道の部分改修。 →歩道上にモノを置かないなどやさしいまちづくりの推進。 →電柱を移設する、信号を長くするなどの事業者側の配慮。
	生活道路	<ul style="list-style-type: none"> 保健所通りは「コミュニティ道路」として整備され、非常に歩きやすくなった良い例である。他の道路でも展開してほしい。
	信号機	<ul style="list-style-type: none"> 大通り（本郷通り、白山通りなど）は、横断歩道が長くて時間内に渡りきることができないので、青時間を長くしてほしい。
	バス	<ul style="list-style-type: none"> バスの運転手によって乗降のしやすさが異なる。バスの正着や二ーリングを徹底してほしい。
	案内	<ul style="list-style-type: none"> 主要施設は大通りから一本中に入った細道に面していることが多く場所がわかりづらい。 →大通りから細道に入る交差点に音の案内を設置（盲導鈴、シグナルエイドで反応する設備など）。 →大通りから細道に入る交差点に案内板を設置。 →施設まで連続した視覚障害者誘導用ブロックを設置。
ソフト面	<ul style="list-style-type: none"> 自転車利用者のマナーが悪い。 区役所にバリアフリーのワンストップ窓口を設置してほしい。また、区民意見への対応が可視化できるようにしてほしい。 バリアフリーの報告会を毎年度実施するなど、継続的な取組をしてほしい。 	

④ 山の手地域中央・山の手地域西部

項目	意見内容	
施設	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川橋駅はエレベーター設置が進んでいるが、エスカレーターが途中で終わってしまうので、高齢者は困っている。 	
地点・路線	<ul style="list-style-type: none"> 坂下通りは歩道が狭く勾配がついている。 春日通りと音羽中学校前通りの交差点は、三叉路であり信号が変則的である。子供が多く使うが、右折専用信号が短すぎて危険である。また、車止めが低すぎて視覚障害者がつまずく。 音羽中学校前通りは坂道が急で歩道が狭いので、身体能力が落ちている知的・精神障害者はすれ違いが怖いときがある。 音羽通りの交差点は利用が多く、枝道の歩行者がたまってしまっているのが危険である（盲学校への動線でもある）。 跡見学園裏の通りは電柱の位置が悪く歩いているとぶつかる。（視覚障害者） 地藏通りの商店街は自転車が走り抜けるので怖い。 	
地域全体	歩道整備	<ul style="list-style-type: none"> 急すぎる坂は雨の日に滑るので、滑りにくい舗装などに配慮してほしい。
	信号機など	<ul style="list-style-type: none"> 高齢になった知的・精神障害者などは、広い道路では信号が青の間に渡りきれずに横断が苦痛になっている。
	マナー	<ul style="list-style-type: none"> 通学路では子供の通学マナーが悪く、狭い道で譲りあいができていない。
	案内	<ul style="list-style-type: none"> 聴覚障害者は視覚情報が頼りなので、目で見えてわかる情報をまちなかに増やしてほしい。 案内サインの盤面などでは、色覚障害の人に配慮し、色だけでなく形の違いで情報を説明してほしい。
	地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 文京総合福祉センターや盲学校を有する地域であり、多数の障害者等が利用しているため、江戸川橋駅～巻石通り～文京総合福祉センター周辺のバリアフリーは重点的に取り組む必要がある。